

平成28年度10月（第7回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

平成28年10月28日（金） 午後3時00分～午後4時20分

2 場所

光市教育委員会 2階会議室

3 出席委員

永岡委員長、河村委員、寺崎委員、中西委員、能美教育長

4 事務局

蔵下教育部長、和田学校教育課長、奥屋学校教育課主幹、弘文化・社会教育課長兼人権教育課長、村崎体育課長、穂山図書館長、呉橋学校給食センター所長、太田教育総務課長、影土井教育総務課経理係長

5 教育長報告

- (1) 人間国宝山本晃氏による特別授業について
- (2) 市民体育大会について
- (3) 市美術展について
- (4) 学校保健・学校安全表彰について
- (5) 世界大会出場及び山口県中学校体育大会の結果について

6 議事

(1) 議案及び報告

ア 報告第1号 平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

(ア) 概要

平成28年度全国学力・学習状況調査結果について、事務局より報告。

(イ) 内容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意見

室積地区でも、早長八幡宮の祭りなどの地域行事に多くの子どもたちが参加しているが、非常に良いことだと思う。

② 回答

室積中学校の生徒は、以前から積極的に地域の行事に参加している。

① 意見

クリーン光大作戦も参加者が多く、そうした取組みがアンケートの結果に具体的に表われていると思う。

① 意見

コミュニティ・スクール等への取組みにより、地域行事やボランティア活動への参加が増えてきていると思う。そうしたことで地域の方々との交流や繋がりを深めることができていると感じる。

① 意見

こうした地域行事等への積極的な参加が、子どもたちの問題行動の減少やいじめ防止等に繋がっているものと思う。

② 回答

地域との密接な連携・協働が児童生徒の心の育ちに繋がっていると思う。児童生徒の問題行動等の諸問題に関する調査結果では、暴力行為の発生率は昨年度より減少しているが、いじめの認知率は若干増加している。これは、教員がしっかりとアンテナを張り、児童生徒と向き合っているからと理解している。認知した事案については、しっかりと対応していきたい。

① 意見

調査結果を踏まえ、中学校だけで問題や課題等を共有するのではなく、小学校も含めて問題や課題等を共有していくことが大切と思うが、どのように対応しているか。

② 回答

すべての中学校区において、小・中学校合同の教職員の研修会等を行うなど、日頃から小・中学校の繋がりを大切にするよう努力している。

イ 報告第2号 平成27年度主要施策の成果について

(ア) 概要

平成27年度主要施策の成果について、事務局より報告。

(イ) 内容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意見

ジュニアリーダーの登録者数が増えてきているが、予算等も増えているか。また、登録者数はどのくらいか。

② 回答

登録者数は増えているが、予算額等に大きな変更はない。登録者数は250人程度であるが、実際の参加者は半分程度で、そのうち、活動の中心になっている者は1割程度と把握している。

① 意見

学校給食センター業務における光市産食材の使用率については、どのようにお考えか。

② 回答

光市産の食材の使用率については、前年度よりも上昇している。地場産食材の積極的な利用に努めているところであり、使用率は今後も上昇していくものと考えている。

① 意 見

「伊藤公カップ英語スピーチコンテスト」については、参加者数が年々減っているが、その理由等は把握しているか。

② 回 答

チラシ等により、学校に直接ご案内等をしているが、周知の方法について再度検討したい。

ウ 報告第3号 区域外就学の承認について

(ア) 概 要

区域外就学の承認について、事務局より報告。

(イ) 内 容

区域外就学の協議及び申請のあった3名を承認したことについて報告するもの。